特別展
日本書紀成立
1300年

出雲と大和

SPECIAL EXHIBITION

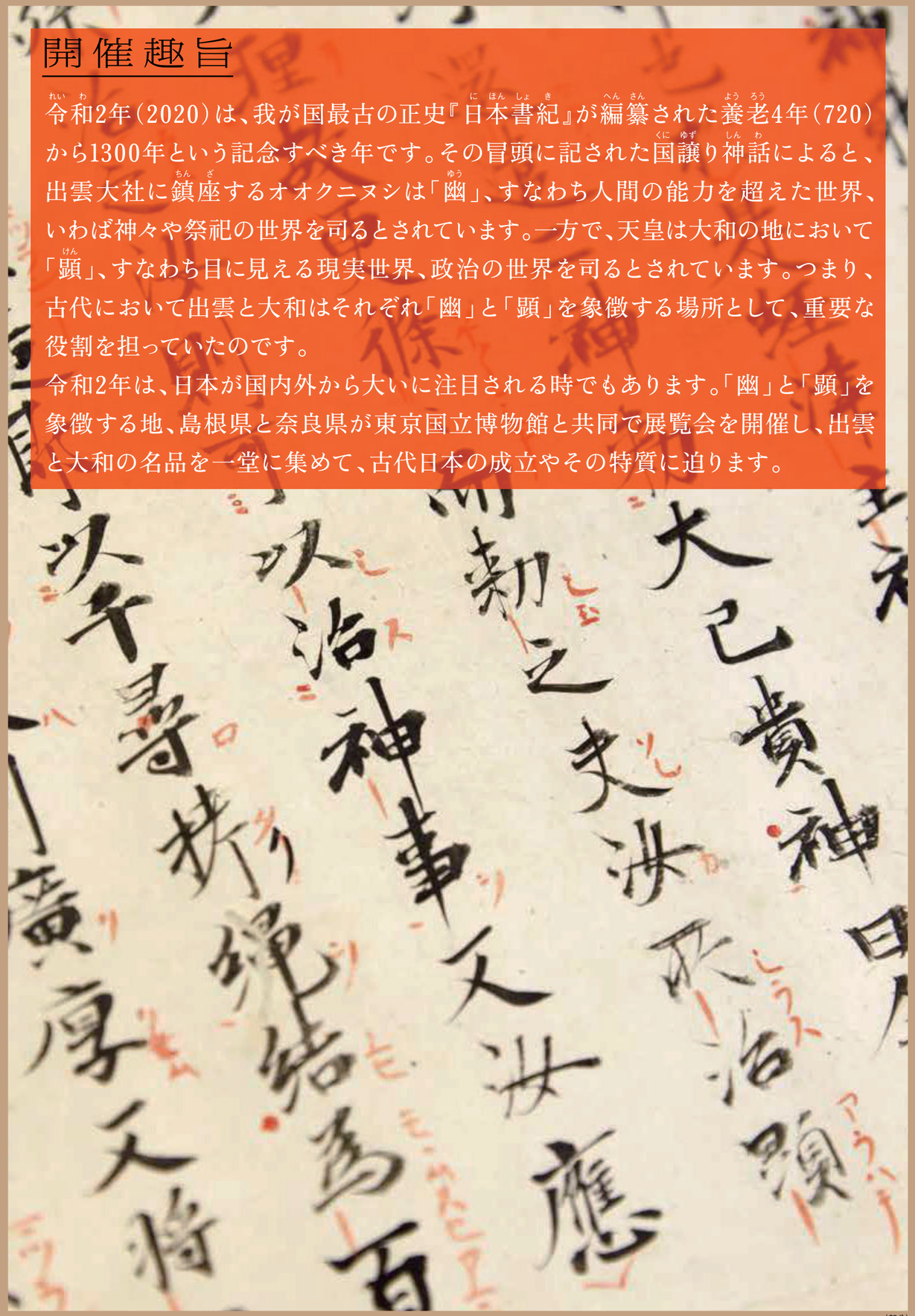
IZUMO AND YAMATO

THE BIRTH OF ANCIENT JAPAN

開催趣旨

令和2年（2020）は、我が国最古の正史『日本書紀』が編纂された養老4年（720）から1300年という記念すべき年です。その冒頭に記された国譲り神話によると、出雲大社に鎮座するオオクニヌシは「幽」、すなわち人間の能力を超えた世界、いわば神々や祭祀の世界を司るとされています。一方で、天皇は大和の地において「顕」、すなわち目に見える現実世界、政治の世界を司るとされています。つまり、古代において出雲と大和はそれぞれ「幽」と「顕」を象徴する場所として、重要な役割を担っていたのです。

令和2年は、日本が国内外から大いに注目される時でもあります。「幽」と「顕」を象徴する地、島根県と奈良県が東京国立博物館と共同で展覧会を開催し、出雲と大和の名品を一堂に集めて、古代日本の成立やその特質に迫ります。



（部分）

見どころ

1 出雲大社のご神宝、東京へ

出雲大社に古くから伝わる
手箱や甲冑などのご神宝をはじめ、社殿を飾っていた絵画、
境内から出土した巨大柱など、
出雲大社の歴史を物語る作品を一堂にご覧いただけます。

①国宝　**出雲大社本殿**　外観

2 大量の出土青銅器

国宝・荒神谷遺跡出土青銅器（銅剣・銅鐸・銅矛）から計189点、
国宝・加茂岩倉遺跡出土銅鐸のうち30個を展示します。
これだけの数が東京でまとまって出品されるのは、
およそ20年ぶりです。

②国宝　**銅剣・銅鐸・銅矛**（部分）　島根県出雲市　荒神谷遺跡出土　弥生時代・前2～前1世紀
文化庁蔵（島根県立古代出雲歴史博物館保管）

3 出土数最多の三角縁神獣鏡

黒塚古墳の被葬者を護り鎮めた33面の三角縁神獣鏡は、
1つの古墳から出土した数としては全国最多です。
その全点を出品します。

③重要文化財　**三角縁神獣鏡**　奈良県天理市　黒塚古墳出土　古墳時代・3世紀
文化庁蔵（奈良県立橿原考古学研究所保管）

4 門外不出の仏像、初公開

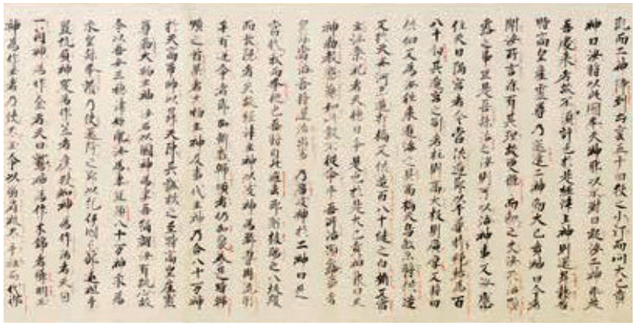
1300年の間、大和の地でひっそりと守り伝えられた
最古級の石仏が寺外初公開されます。
鋭い彫り口や、わずかに残る彩色などの細部にも要注目です。

④重要文化財　**浮彫伝薬師三尊像**　飛鳥～奈良時代・7～8世紀　奈良・石位寺蔵

前期 前期展示　1月15日（水）～2月9日（日）　**後期** 後期展示　2月11日（火・祝）～3月8日（日）

日本書紀とは？

神代から持統天皇11年（697）までを記した歴史書。舎人親王（676～735）が中心となって編纂し、養老4年（720）、元正天皇へ奏上されました。全30巻で、巻1・巻2は神代、巻3の神武天皇から巻30の持統天皇までは編年体でまとめられています。『日本書紀』の写本は、古本系統と卜部家本系統に分類されてきました。和銅5年（712）編纂の歴史書『古事記』よりもたくさんの記事が収められ、現代までさまざまな視点から研究が続けられてきています。



（部分）

重要文化財

日本書紀 巻第二

南北朝時代・永和1～3年（1375～1377）　愛知・熱田神宮蔵
後期

熱田神宮に伝わり、15巻残っています。附属する永和3年（1377）の寄進状に、京都金蓮寺四代上人浄阿の意により円福寺三代厳阿が熱田神宮に奉納したことが記されています。卜部家の本をもとに写したと巻9の奥書にあります。

出雲大社

第1章 巨大本殿

「幽」の世界を司る
オオクニヌシをまつる
出雲大社は、
古代には48mの高さを誇った
といわれています。
本章では鎌倉時代に
本殿を支えた巨大な柱
「宇豆柱」とともに、
出雲大社の歴史と出雲に
伝来するご神宝の数々を
紹介します。

国宝

秋野鹿蒔絵手箱

鎌倉時代・13世紀　島根・出雲大社蔵
後期

出雲大社に伝わる古神宝。
宝治2年(1248)の造営の際に奉納された可能性が指摘されています。
蓋表には土坡流水のもとで憩う鹿の親子、今を盛りに咲き誇る萩、
この萩に群がる小鳥が描かれています。鎌倉時代の手箱を代表する優品です。

重要文化財

赤糸威肩白鎧

室町時代・15世紀　島根・出雲大社蔵
前期

社伝によると、
応仁元年(1467)の遷宮の際に、
八代将軍足利義政が寄進したもので、
六代将軍義教着用とされています。
室町時代の大鎧の遺品は
少なく貴重です。

重要文化財

宇豆柱

島根県出雲市　出雲大社境内遺跡出土
鎌倉時代・宝治2年（1248）　島根・出雲大社蔵

平成12年(2000)に出雲大社境内から
発見された3本1組の柱。
それぞれの柱の直径は約1.3m、
3本束ねた直径は約3mとなります。
この巨大な柱が支えていた本殿の
大きさをしのばせるものです。

出雲

第2章 古代祭祀の源流

弥生時代は銅鐸など
青銅器を用いた祭祀が
盛行しますが、後に出雲では
特徴的な形の墳丘墓を
舞台とした祭祀へと変化します。
本章では弥生時代の
祭祀に用いられた
品々の移り変わりを通して、
出雲における
古代祭祀の源流を探ります。

勾玉

島根県出雲市　西谷3号墓出土
弥生時代・1～3世紀
島根大学法文学部考古学研究室蔵
（出雲弥生の森博物館保管）

四隅突出型墳丘墓と呼ばれる
独特な墳墓から出土した
ガラス製の勾玉。
ほとんど風化せず
半透明のコバルトブルーの
色合いが美しいものです。
大小2つの孔をもつ
独特な形状をしています。

国宝

銅鐸

島根県雲南市　加茂岩倉遺跡出土
弥生時代・前2～前1世紀
文化庁蔵（島根県立古代出雲歴史博物館保管）

加茂岩倉遺跡からは日本最多となる39個の銅鐸が一括出土しています。
銅鐸のなかには、シカ・ウミガメなどの絵や特殊な文様をもつものなど、
他にあまり見られない独自色の強い銅鐸もあります。

国宝

銅剣・銅鐸・銅矛

島根県出雲市　荒神谷遺跡出土
弥生時代・前2～前1世紀
文化庁蔵
（島根県立古代出雲歴史博物館保管）

荒神谷遺跡からは驚くべき数の
青銅器が一括して出土しました。
武器形青銅器と銅鐸が一緒に
埋納されていたことから、
『定説を覆す』、
『教科書を書き換える』と評された、
弥生時代を代表する
青銅器群です。

（部分）

第3章 大和 王権誕生の地

大和に出現した前方後円墳は
政治権力の象徴で、
王権の儀礼が繰り広げられた
舞台でもあります。
本章では埴輪や副葬品にみる
古墳時代の多彩な造形が
豊かに展開するさまをたどりつつ、
ヤマト王権の成立の背景に迫ります。

国宝

七支刀

古墳時代・4世紀　奈良・石上神宮蔵

石上神宮に伝わる宝剣。
左右の3つずつの枝刃と、幹となる本体の刃先をあわせ
7つの枝があるように見える刀剣は唯一無二のもの。
表裏合わせて61文字の銘文が金で象嵌されており、
日本史の一級史料と言えます。

重要文化財

円筒埴輪

奈良県桜井市　メスリ山古墳出土
古墳時代・4世紀　奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵

前方後円墳の上に並べられた
高さ約2.5mの世界最大の円筒埴輪。
被葬者が眠る埋葬施設と外界を遮断し
「聖域」を保護していました。
その巨大さから高度な技術によって
製作されたことが分かります。

重要文化財

画文帯神獣鏡・三角縁神獣鏡

奈良県天理市　黒塚古墳出土　古墳時代・3世紀
文化庁蔵（奈良県立橿原考古学研究所保管）

画文帯神獣鏡1面と三角縁神獣鏡33面が出土。
竪穴式石室内の被葬者の頭部付近をコの字状に
囲むように置かれた三角縁神獣鏡は
1つの古墳から出土した数としては全国最多です。
鏡面を被葬者側に向けて
被葬者を護り鎮める意図をもっていました。

（部分）

第4章 仏と政

古墳時代後期に伝来した仏教は、
飛鳥時代や奈良時代には
天皇、貴族、地方豪族を中心に
人々の信仰を集めました。
本章では仏教を中心とした
国づくりが進められるなかで、
国の安泰と人々の生活の安寧を祈り
誕生した造形を紹介します。

重要文化財

持国天立像

（四天王像のうち）
平安時代・9世紀
島根・萬福寺（大寺薬師）蔵

出雲は神々の国という
イメージがありますが、
実は古刹も多く、
優れた仏像も数多く遺ります。
本像は出雲を代表する平安仏。
2m近くある一木像が4体揃い、
迫力のある空間で
ご覧いただけます。

重要文化財

持国天立像

（四天王像のうち）
飛鳥時代・7世紀　奈良・當麻寺蔵
画像提供：奈良国立博物館（撮影：佐々木香輔）

仏の世界を守護する
四天王像のうちの1体。
現存する四天王像のうちでも古い像で、
2mを超える巨大な立ち姿と、
髭をたくわえた
凛々しい顔立ちが見どころ。
脱活乾漆という当時の最新技法で
造られました。

重要文化財

浮彫伝薬師三尊像

飛鳥～奈良時代・7～8世紀
奈良・石位寺蔵

三輪山の麓に伝わった石仏。
遣唐使の時代、
中国から伝わった
造形をもとに造られました。
奈良時代以前の
石仏は大変珍しく、
風化せずに
ここまで残ったのは
奇跡としか言いようが
ありません。

特別展

日本書紀成立1300年

出雲と大和

SPECIAL EXHIBITION

IZUMO AND YAMATO

THE BIRTH OF ANCIENT JAPAN

2020.1.15(水)—3.8(日)

TNM 東京国立博物館 平成館(上野公園)

TOKYO NATIONAL MUSEUM (UENO PARK)

［ 開館時間 ］

午前9時30分～午後5時　※金曜・土曜日は午後9時まで開館　※入館は閉館の30分前まで

［ 休館日 ］

月曜日、2月25日(火)　※ただし、2月24日(月・休)は開館

［ 主催 ］

東京国立博物館、島根県、奈良県、ＮＨＫ、ＮＨＫプロモーション、読売新聞社

［ チケット情報 ］

観覧料金(税込)	当日券	前売券	団体券
一　般	1,600円	1,400円	1,300円
大学生	1,200円	1,000円	900円
高校生	900円	700円	600円

※中学生以下無料　※団体は20名以上　※障がい者とその介護者各1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください)　※前売券は2019年11月5日(火)から2020年1月14日(火)までの間、展覧会公式サイト、各種プレイガイド、東京国立博物館 正門チケット売り場(窓口、開館日のみ、閉館の30分前まで)にて販売。

期間限定早割チケット　1,200円

2019年10月5日(土)～11月4日(月・休)まで販売予定。詳しくは展覧会公式サイトにてお知らせします。

［ 展覧会公式サイト ］

https://izumo-yamato2020.jp/

お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル)

［ 報道関係お問合せ ］

日本書紀成立1300年　特別展「出雲と大和」広報事務局(共同PR内)　担当:三井、谷川

TEL:03-3575-9823　FAX:0120-653-545

E-mail:izumo-yamato2020-pr@kyodo-pr.co.jp

美術展ナビ Art Exhibition JAPAN 美術展の最新情報ゾクゾク更新中

beyond 2020

表紙:

(上)画文帯神獣鏡　奈良県桜井市 ホケノ山古墳出土　古墳時代・3世紀　奈良県立橿原考古学研究所蔵

(下)国宝　銅鐸　島根県雲南市 加茂岩倉遺跡出土　弥生時代・前2～前1世紀　文化庁蔵(島根県立古代出雲歴史博物館保管)